

# 取材映像から知る ウクライナ 戦火に生きる市民は今



伝統衣装を着た小学生たち。戦争と隣り合わせの中で授業を続ける。  
「学校で防空警報が鳴ったら、地下の退避シェルターで勉強します」  
2023年5月・ウクライナ南部オデーサ・撮影：玉本英子

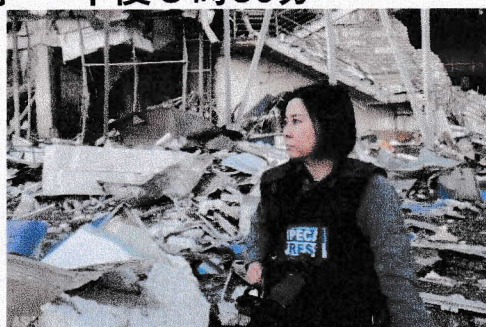
■日時：令和5年8月7日(月) 午後2時～午後3時30分

■場所：立花南生涯学習プラザ  
3階 ホール

■講師：映像ジャーナリスト  
玉本英子氏

■定員：先着50名

■申込・問合せ：立花地域課まで  
TEL 06-6427-7770  
MAIL [ama-tachibanacenter@city.amagasaki.hyogo.jp](mailto:ama-tachibanacenter@city.amagasaki.hyogo.jp)



ロシア軍のミサイル攻撃の現場取材。スーパーマーケットと隣のアパートは破壊され、瓦礫が広がっていた。  
2022年8月・ウクライナ南部ミコライウ・撮影：アジアプレス

令和5年度平和学習推進講演会

共催：尼崎市立花地域課・立花会

手話通訳あり

## ◆講演内容

2022年2月に始まったロシア軍によるウクライナ侵攻は、依然として収束の見通しが立たず、ウクライナの市民は、常に恐怖と隣合せの状況が続いている。

子どもたちの現状、前線地域の様子や、そこに残る高齢者など、今年5月、6月と現地に行かれた玉本英子氏が、取材映像を見せながら報告する。

## ◆講師紹介

東京生まれ。デザイン事務所勤務を経て1994年よりアジアプレス大阪事務所所属。

中東地域中心に取材。アフガニスタンではタリバン政権下で公開銃殺刑を受けた女性を追い2004年ドキュメンタリー映画「ザルミーナ・公開処刑されたアフガニスタン女性」監督。イラク・シリア取材では、報道ステーション（テレビ朝日）、報道特集（TBS）などで報告。第54回ギャラクシー賞報道部門優秀賞、第26回坂田記念ジャーナリズム賞特別賞受賞。